
技術的まなざしの下の美のイメージ

—中国の美容医療プラットフォームの事例から—

轟 安琪 (早稲田大学大学院文学研究科文化人類学コース修士課程)

The image of beauty under the technical gaze
—From the case of China’s medical beauty platform—

Anqi Nie

MA Program, the Graduate School of Letters, Arts and Sciences, Waseda University

ABSTRACT

Today, the development of body knowledge and cosmetic technology has provided individuals with opportunity to reshape the body, it also created the ideal image of “perfect beauty”. Furthermore, this image of “perfect beauty” is being extended through media technology, affecting the individual’s view of body and physical practice.

In such situation, the medical beauty platform has become an important channel for people considering aesthetic medicine to get professional medical knowledge and ways to become beautiful. It also provides users with a platform for self-presentation and communication, sharing their own experiences with others.

This paper focuses on the services and functions of “So Young”—the largest medical beauty platform in China. By analyzing the process of using these services, we can find how the medical beauty platform builds aesthetic image and guide users to accept aesthetic medicine with the technological maze.

はじめに

今日においては、身体の「美」への追求を技術の改造によって実現することが時代の流れの一つとなっている。更に美しく、若々しく、健康な身体を手に入れることが人々の関心の焦点である。体重計の目盛りや BMI が女性の身体を測量する指標となったように、科学技術によって生み出された美的規範は、理性的かつ精確に女性の身体を監視している。このようなまなざしのもとで、身体の特徴や欠陥は直接的に映し出され、そして自発的な改善や再形成を促される。また、現代の技術はマスメディアや消費産業と連携して、完璧な美のイメージを作り出し、人々の中に定着させ、そして、美に更に近づくための多様な商品やサービスを推し出している。つまり、技術は美的基準・規範を導き出す一方で、美に近づける手段も提供している。その中で、効率的で顕著な効果をもたらす美容医療は、近年、一つの新興産業として台頭し、急速に拡大しつつある。

美容医療サービスにおいて、中国は今やアメリカに次ぐ2番目に大きな市場となっている。2022年の市場規模は2,500億元に届く勢いで、2023年の消費者規模は2,354万人に達する見通しである [新氧 2022: 6]。このような美容医療の需要と関心が高まる中で、インターネット美容医療プラットフォームが現れた。美容医療プラットフォームとは、美容関連の医療サービスや情報を提供するオンラインプラットフォームのことを指す。今、美容医療プラットフォームは患者や顧客が美容関連の情報を入手し、医療施設や美容クリニックを検索して予約を行うのに役立っている。

本稿では、中国のオンライン美容医療プラットフォーム「新氧(シンヤン / so young)」の機能やサービスに着目し、「新氧」のユーザーである4人とコンタクトを取り、彼女たちの利用体験についての聞き取り調査を行った。本稿では、美容医療プラットフォームから得られる美的イメージや規範とはどのようなものなのか、また、ユーザーたちは提供される情報をどのように受けとめ、美容医療を受けるように導かれているのかを明らかにする。

1. 美容医療に関する先行研究

美容整形に関するフェミニズム研究では、身体の管理・監視に焦点を当てた分析と、整形経験者の能動性に焦点を当てた分析が対立的な議論を構成してきた。例えば、ナオミ・ウルフ (Naomi Wolf) は、『美の神話』で「抑圧としての美」という観点を指摘し、美を家父長制社会における男性の支配と女性の抑圧の問題とみなし、整形する女性は美の規範の犠牲者であると批判した [Wolf 1991]。これに対して、キャシー・デイヴィス (Kathy Davis) は女性が行为主体として有する「エイジェンシー」を主張し、女性たちの能動性や感情を見過ごさず、具体的な美の実践や身体経験を検討すべきだと異論を唱えている [Davis 1995]。このように、整形した女性が、社会における美の基準を押し付けられた受動的な被害者であるか、それとも身体の自主権を握る能動的な行動者であるか、という二項対立的な問題は長年にわたって議論されてきた。しかし、その社会的な美の基準はどのようなものであるのか、いかに作り出されるのか、そして、女性たちにどのように受け止められているかについては、考察の余地が残る。

一方で、美容整形に関する人類学的研究では、中国の人類学者である文華 (Wen Hua) は、2005年前後の中国の整形現象に関して民族誌的研究を行った。文華は、「女性の声に耳を傾ける」というデイヴィスの主張を支持し、個体としての女性のライフストーリーから、中国人女性の整形実践と審美観の生成変化を、改革開放からの中国の急速な経済的発展やグローバル化という大きな時代背景に照らし合わせて分析している。中国の改革開放以来、消費主義と新自由主義の台頭、女性の社会進出、白人を基準とした美のグローバル・スタンダード化などの影響を受けて、女性に対する期待は、従順な良妻賢母から、自立的で同時に魅力的な外観を持つことへと変わり、また、白人のような彫りの深い顔立ちが流行りの美のイメージとなっている。文華によると、女性の容姿に対する不満は、このような社会の激的な変動の中で引き起こされる人々の精神的な不安と焦りに由来する。美容整形という自己改造の実践は、新たな社会環境に適応するための方法である [文 2019]。

また、人類学者の川添による日本の美容整形をめぐる人類学的研究においては、日本では、美より「普通」への渴望が強調される傾向があると指摘されており、それは美容整形を受けることへのタブー性が強いことによるという [川添 2013]。また、川添によると、美容整形の流行は近代化による個人観、身体観の変化と深く関わっている。社会も個人も絶えず向上が求められ、さらに自らを監視し、反省し、対処することが慣習化する。個人が、自らの意志で、〈よりよいわたし〉になるために、「私が持っているもの」としての身体を加工する。[同上：244] この二つの研究は、時代の流れとともに変遷するジェンダー規範や身体観を検討し、社会からの外的規制力と個人の内的意思の二つの側面から、女性が美容整形を選ぶ理由を分析している。特に、女性が置かれた時代背景を考察することで、彼女たちが無意識に影響を受けている事象を汲み取ることができ、美容整形を行う理由を全体的に捉えることができる。

近年、SNSをはじめとするメディアの発達、医療技術などのテクノロジーの進化を受けて、美容整形に対する新たな意識や女性の身体観念に新たな変化が起きている。例えば、医療技術と安全性の向上によって、美容整形の敷居が下がり、人々の美容整形に対する関心も高まっている。また、かつて多くの人々が整形の経験を隠す傾向にあったが、現在では、女性たちがSNSで自分の身体実践の経験を自発的に公開し、美容整形に関心のある他の人たちとシェアする現象が現れている。このような新しい状況が観察できることから、時代に伴う美容整形の変化を改めて見ていく必要があるだろう。

2. 中国の現状

2-1. 「美容医療」の定義

日本では「美容医療」が一般的な言い方であるが、中国では、「医療美容」という。中国の衛生部が発表した『医療美容サービス管理方法』によると、医療美容サービスとは手術、薬物、医療器械及びその他の創傷性又は侵襲性を有する医学技術方法を用いて、人の容姿及び人体の各部位の形態に対して行う修復や再構築である。また、一昔前、

中国では「美容整形」,「整形」は日常生活においてよく聞く言葉だったが,近年は「医療美容」の略称「医美」がより一般的に広く使われている。それは,「プチ整形」の流行りに深くかかわっている。「美容整形」というと,メスを使うイメージがあるが,「プチ整形」とはメスを使うことなく,レーザー,注射などを用いた,リスクの低い,即効性のある日帰り施術項目である。例えばボトックス注射,ヒアルロン酸注入,レーザー治療などがある[中華人民共和国衛生部 2001]。

近年の中国では,プチ整形は急速な発展を遂げ,美容医療サービスの主調となっており,2021年のプチ整形を受けた人は美容医療サービスの利用者の84%を占めている。[新氧 2022:20] プチ整形の普及により,美容整形全般に対するネガティブな印象も変化してきたといえる。中国美容医療産業についての市場調査報告によると,2022年25歳以下の利用者が50%近くである。美容医療の低年齢化が進んだ一方で,5回以上利用した人が25歳以上の年齢層に集中しており,消費行動はより安定し,「美容医療」はこれらの人たちの日常生活様式になっている[同上:10]。このような現状を踏まえて,本稿では,「美容整形」と「プチ整形」をあわせたものとしての「美容医療」を研究テーマとし,論を展開する。

2-2. 「新氧」の概要

2013年に設立された「新氧」は,現在中国国内最大の美容医療プラットフォームであり,その理念は「科学技術の方式で美を求める女性たちの助けになる会社」である。2021年のアプリユーザー数は1800万人を超え,2017年の4倍以上となり,2020年より19.27%増加した。そのユーザーの男女比は長年の間1:9であったが,近年は男性のユーザー数が大幅に増加している。ユーザーの年齢層は主に20~35歳に集中し,学部卒以上の学歴を持ち,都市に居住し,消費水準がやや高い傾向にある[新氧 2022:12-14]。「新氧」の主な機能と特徴は以下のとおりである。

- ①医療情報提供:手術内容,設備や材料についての説明。中には医療専門家による記事,施術過程のビデオなどが含まれる。
- ②医師とクリニックの検索:地域ごとに所在地の病院と医師の情報一覧を呈示する。ユーザーは特定の地域の美容医師やクリニックを検索し,そのプロフィール,資格,施術内容,料金などを比較することができる。
- ③オンライン上の相談や取引:ユーザーはプラットフォームを通じて医師と無料相談することができるほか,クーポンをもらってサービスや手術を予約・購入することもできる。
- ④レビューと評価:ユーザーは美容手術や治療の経験についてレビューや評価を投稿し,他のユーザーと情報を共有することができる。
- ⑤AI技術による顔診断システム:システムが顔の特徴や肌の状態について分析し,ユーザーに自己改善の方法を提供する。

これらの機能により,適切で信頼性の高い医師やクリニックを見つけるのに役立つ。

筆者は2023年の9月から11月まで,「新氧」美容医療プラットフォームで観察調査を行い,「新氧」の投稿やコメント欄で4人のユーザーに連絡を取り,インタビューを行った。取材協力者は全員20~30代の女性であり,そのうちPさんとLさんの二人は既に美容医療を受けた経験がある。Pさんは今年の6月アゴにヒアルロン酸注入した。Lさんは大学二年生の頃二重まぶた手術を受けた。もう二人,CさんとJさんはまだ美容医療を受けたことがないが,肌質改善の施術を受ける意欲がある。次章では,「新氧」という美容医療プラットフォームの機能やサービスに着目し,ユーザーたちによる「新氧」の利用のプロセスを明らかにする。また,プラットフォームでの投稿の内容や書き方,ユーザーたちとのやり取りを観察・分析し,プラットフォームがユーザーたちに与える影響について考察していく。

3. 調査—「新氧」のサービスを中心に

「新氧」には「医美百科」,「新氧魔鏡」,「美麗日記」という三つの中核をなすサービスがある。

3-1. 「医美百科」

ホームページを開くと、最上端には、「眼、鼻、胸、皮膚管理、シェイプアップ、顔面輪郭、ヒアルロン酸、レーザー脱毛、しわ取りアンチエイジング...」と身体部位別のカテゴリーが並ぶ。そして、それぞれの部位に対応するサービスも呈示されている。一つの項目をクリックすると、「医美百科」のページが開く。「医美百科」とは美容医療に関する百科事典であり、ここであらゆる診療項目と使用の設備について詳しい情報が見られる。具体的には、施術の基本知識、料金と概要、推奨する利用者層、治療の流れ、医者による解説動画、患者の治療動画、主なリスク、副作用、よくある質問などの情報が提供される。

例えば、「ほうれい線が現れる原因」について、「健康な皮膚の状態は、潤い・保湿力ある、コラーゲンが生産されハリがある、血管組織が太い。しかし、不良な生活習慣や加齢によって、コラーゲン繊維が希薄化、肌のくすみ、ハリが減り、血管組織の縮小、肌を守る力の弱化、過度な乾燥が引き起こされる。すると、しわ、たるみなど肌のトラブルが現れ始める（筆者訳）」という説明がある [医美百科 2023a]。ここに一種の誘導のメッセージが潜んでいる。つまり、身体の変化が健康に結び付けられて、身体的美醜を病的に分析・認識されている。滑らかで綺麗なお肌を守ることは自分自身の健康を維持することに等しいとされ、施術希望者に身体管理の必要性を感じさせる。こうして、美容医療への正当な理由を作っているのではないかと考えられる。

また、近年人気の肌質改善の治療項目である「ダーマペン」は「髪の毛より微細な針で (0.25 mm から 2.5 mm までの深さ)、肌に垂直に高密度に穴を開けて、肌の新陳代謝とコラーゲンやエラスチンの分泌を促す治療である。ニキビやニキビ跡、毛穴の開き、色素沈着、肌の小じわ、たるみといった肌トラブルを治療する（筆者訳）」と説明されている [医美百科 2023b]。ここで、美容医療プラットフォームは主に西洋医療に由来する知識を借りて、極めて専門的で権威的な医療用語と精密な数値で診療項目の参考情報を提供している。こうして、ユーザーに疑いのない信頼感を醸し出している。

これからダーマペンを利用しようと考えているCさんに治療を希望する理由を聞いた。「昔はそういうサービスがなくて、自分の顔をいじることを考えたことはなかったが、これはメスを使う整形項目とは違って、リスクが低くて安全だし、健康なお肌にいいし、高価で即効果が見えるスキンケアみたい」。一方、Jさんもこのような肌質改善の治療項目に高い興味を示している。「説明は全くわからない言葉だらけだけど、とても専門的で、何だか安心できる。これほど先端的技术があって、利用したいのは当然じゃない」。ここから、ユーザーたちの美容医療に対する興味の一部は先端的な科学技術に対する信頼に由来することが分かった。

3-2. 「新氧魔鏡」

「新氧魔鏡」とはAI技術を用いた顔診断サービスである。人工知能、画像処理、設計美学の領域の専門家らからなる開発チームが半年以上かけて開発した美容医療分野初の術後のリアルな状態が予測できる顔認識システムである。具体的には、人工知能で顔の特徴を分析し、その診断結果に基づいて、施術方案を立てる。

このサービスを利用するには、ただスマホのカメラに向かって、顔を枠に収めて一枚の顔の写真を撮影すればいい。すると、一部の顔診断報告が直ちに作成される。まずは、目、鼻、口など顔の各パーツの横幅と高さ、位置と比例、顔全体の輪郭を測定し、黄金比で顔のバランスで採点する。このような数値化・計量化された身体指標で自己の身体状態を評価する。次は、年齢感、知性感、親近感という三つの基準で分析される顔タイプを導き出し、利用者の顔の特徴を提示してくれる。

Lさんはよくこの機能を使って、自分の顔の状況を確認している。彼女は自分の診断結果をシェアしてくれた。「年齢感について、あなたの顔はほうれい線とくまが目立ち、こめかみが凹んでいて、憂鬱、元気がない、疲れているように見えてしまいます。年齢的にはやや成熟したタイプです。知性感について、あなたの下唇は薄くて、顎がまるいです。気が利くような印象がありながら可愛く見えます。距離感について、あなたは近寄りにくいと感じさせてしまうことがあります。これらの特徴を改善したい場合、以下の美学プランをお勧めします。」そして、ヒアルロン酸注入やボツリヌストキシン注射や糸リフトによるしわ取り治療、顎修整など目が回るほど多くの施術方案が提出され、その調整後の効果予想も立体的な画像で示してくれる。

次は肌について、このシステムは高精度で肌のシミ、しわ、キメ、くま、ニキビ、肌年齢、肌タイプ、肌指数などを診断してくれる。それぞれの項目には分析報告がついてくる。肌指数が高いほど肌の状況がいいという。しかし、どれほど指数が高くても、肌の状態には必ず何らかの問題があり、改善する必要があると報告される。そこで、その肌の問題に対する解決案が提示される。例えば、毛穴が目立つという検査結果に対して、スキンケアをしっかりと行うように勧め、そしてくまを治療する施術項目の商品リンクがついてくる。

ここでは、美の基準は具体的に数値化されており、数字、比例、公式によって、身体は測定可能になる。このような基準の下で、厳密な身体判断と評価体系は生産されている。また、このシステムは顔を性格と社交、年齢などに結び付け、「ほうれい線やくま≒元気がない、疲れている」のように、身体それぞれの特徴を記号化する。そして、元気に見えるようにしわ取り治療のような相応する治療項目を推薦する。こうして、美容医療を受けることによってマイナスのイメージを改善する意味合いを与えている。

Lさんはこの機能について自分の感想を述べている。「このシステムは私の目が小さい、顎が短い、唇が厚いなどの問題を指摘してくれたが、正直に言うと、これらのことは私にとっては問題ではなく、むしろ私の個人の特徴だ。逆に、私が自分の顔で一番不満なのはこの鼻だ。低いし太い。この問題は言ってくれなかった。でもシステムから言われた肌の問題は認める。例えば、目の下のたるみ、シミなど、そして改善できる方法も教えてくれた。でも鼻の黒ずみやニキビもきちんと数えられたとは思わなかった。これからクレンジングしに行かなきゃ。多分したら肌指数も高くなる...」

ほかのユーザーもこのシステムに違和感を覚えながら、自己確認の機能として使っている。Cさんは「角度や光の変化によって、診断の結果も変わってくる。しかも、毎回新しい問題が出てきて、本当にキリがない。だから、いちいち信じちゃダメ。でも、その診断結果の一部は確かな事実だ」と語っている。

ユーザーは「新氧魔鏡」の顔認識システム通じて自分を認識するだけでなく、美容医療を受けた効果も確認でき、そのうえ、さらなる問題も発見できる。人間の身体には常に何らかの欠陥が見出され、そのための改善の道はまるで終着点のないマラソンのようである。

3-3. 「美麗日記」

「美麗日記」とは整形をめぐる経験談と心得の投稿を載せる場である。ここでは、既に350万件以上の記事が蓄積されている。これらの記事はユーザーたちが実際にサービスを買った後に、自分の医療美容体験をシェアするプラットフォームである。

具体的には医師の技術、治療の過程、手術項目の効果などの記録と、ビフォー・アフターの写真によって自分の変化や回復状況を時系列に展示することで、美容手術を受けた経験をリアルに再現し、他のユーザーと情報を共有することができる。このような投稿のコメント欄で、他のユーザーたちは手術の費用、リスク、痛み、術後のケア、医師の技術、自分の懸念などについて問い合わせや交流を行い、一つの大きなコミュニティとなっている。

これらの投稿をよく見ると、ほぼ全てに共通する語り方が見えてくる。その語り方とは、ユーザーが自分の経験を述べる際に使う言葉、伝える内容や感情の方式と特徴である。美容医療プラットフォームは、まさにこのような語り方を用いてユーザーたちの関心を引き寄せるのではないかと考えられる。そこで、「美麗日記」の投稿の語り方や特徴をまとめたい。

3-3-1. 積極的なイメージの構築

多くの投稿者たちは美しくなった後に自分の身に起こったさまざまな積極的な変化を重点的に述べ、マイナス情報を意図的に回避し、プラスのイメージの構築に努めている。

そのイメージはまず外観に関するものである。ユーザーたちは各段階のビフォー・アフターの写真を大量に公開する。これらの写真を通じて、身体における直接の変化をみることができる。施術直前の写真では、投稿者は大体素顔で無表情で、元気がない様子を呈しているが、その修復に伴い、投稿者は段々笑みを浮かべ、元気で自信に満ちた状態になっている。特にダウンタイムの後、投稿者は精緻な化粧をし、フィルターをかけている写真を見せる。また、記事に多く見られるのは生活態度的や心理状態における積極的な変化である。

投稿者は昔容姿に抱えていた不満が段々解消されたという。記事の中では「満足」、「自信」が頻度の最も高い言葉である。「手術は大成功だ、これが私の理想的な自分の様子」「美しくなると幸運も引き寄せられて来る」「今の自分が好きだ」など今の自分をより認めているような描写が多い。また、「社交的になっている」、「ようやくSサイズの服を着れる」など個人の生活習慣、着こなしのスタイルなども変わってきたことがあげられる。さらに、「新しい自分を手に入れた」「生まれ変わった」などの描写で美容医療がすべてを変えることができるという神話的な色彩を与えている。

これらの投稿は外観と心理状態における異なるイメージを構築することによって、美容医療にポジティブな意味合いを与えている。ユーザーたちは美容医療を美しくなる手段として扱うだけでなく、「個人が積極的に生活に向き合う方法」として捉え、生活を愛する姿勢を示している。

3-3-2. 直接的・間接的に広める価値観

これらの投稿はもちろん身体上の痛みや心の不安にも言及しているが、一言程度で終わらせている。あるいは、投稿者たちはこのような体の痛みや不快感の経験を自分を高める、自分を磨くための行動と見なしている。「美しくなるために、肉体的苦痛は耐えられる」、「今は痛いけど、これからよりよくなれることを考えると、期待の気持ちが痛みに打ち勝った」のような投稿からは、完璧な身体を求めるには、苦痛を経験するのが不可欠だ、あるいは、その苦痛には価値があるという考え方が読み取れる。この苦痛は改造が完成した後で、職場、友人、家族など外部からのプラスの身体評価によって相殺できるため、苦痛の経験もプラスの記憶に変えることができる。つまり、これらの投稿は肉体的な苦痛を弱化、合理化しようとし、美容医療に正当性と合理性を与えている。また、「勇敢な自分へ拍手を送りたい」、「皆さん、勇気を出してやろう」のように、美容医療を選択するのは、行動力と勇気の体現であると宣伝するような言葉も多い。さらに、「独立した女性として、自分の身体をいかに改造するかは私の自由だ」のように、自由・自己決定を唱えるユーザーもいる。

3-3-3. 共通する身体的境遇

大部分の投稿者は最初に自分が美容医療を受けた理由を述べている。「自分の顔の欠陥で周りの人に嘲笑されたこともあるし、差別を受けたこともある」「長年悩まされてきた」のように、外観のために、他人からのマイナスの評価、無関心な扱い、さらには容姿のいじめ、コンプレックスなどが多くの投稿で挙げられている。そして、コメント欄では「分かる、自分にもこういう経験がある」「私も足のためにずっと自信が持てない」のような理解を示す返信が少なくない。共通する気持ち、現実で良くないことを経験したユーザーたちはプラットフォーム上で共感や理解を見つけることができる。

また、手術項目によっては、回復過程は数週間から数か月続く場合がある。その間患者たちは痛み、むくみ、あざ、変形など術後の副作用に直面しなければならない。同時に心の不安が伴い、感情的ニーズも高まる。そのような投稿のコメント欄では「応援するよ」「もう効果見えてる、回復できたらきっときれいになる」「私もこういう回復時期があって、本当にしんどかった。頑張ってるね」のような応援の返信が見られる。

そのほか、手術が失敗し、困っている投稿者に關心や支持を示したりする返信もあれば、投稿者の味方になって病院の責任を問いただすこともある。このように、投稿者たちは自分の体験を共有することで他人から励ましや慰めをもらったことが出来る。ユーザーたちの間にも経験の類似によって一種の親近感と共感が形成され、更なる積極的なインタラクションや投稿を生み出す。

「美麗日記」の投稿が自分に及ぼす影響について、Pさんはこう述べている「私はケツアゴで、あまり好きじゃない。普段よくアゴの形の改善に関する投稿を見たりしている。現実世界ではあまり見ないが、ネットで私のような顔タイプの人がこんなに多いのを初めて知った。そして、いい効果のを見るとやっぱり自分もやりたくなるんだ。だからたくさん投稿を見た後私もした」。また、Jさんは「投稿の中で勧められたいい病院や医師はもうマークした。これからお金があったらやりに行く」と決心した。

4. 考察

美容とメディアを研究する学者ヴェーゲンシュタイン (Wegenstein) は、美容的まなざし (cosmetic gaze) という概念を提示した。まなざし (the gaze) は文化的構築として、見る・見られる欲求をはらんでいる。美容的まなざしとは、我々が自分の身体と他人の身体を見る際に、身体に対して、「よりよく、より美しくなる」 (better-beautiful) という期待や欲望が生れることを指す。この欲望に駆られて、人々は身体改造と美の構築を行っている。今、このような「よりよく、より美しくなる」という理想的な美のイメージは医学技術という権威的なまなざしによって公式化され、メディア技術によって広がっている [Wegenstein 2012 : 109-111]。

例えば、「新氧」では、ユーザーに医療情報を提供する「医美百科」が、専門・権威的な医療知識を通じて、美を健康に結び付け、個々人に自分自身の外見、健康に責任を持つよう仕向け、これによって美の需要を作り出す。そして、「新氧魔鏡」という AI 顔診断は、精密な数値やデータを用いて、知性的でありながら若く見える、親しみを感じやすい、黄金比に近い顔のパーツの位置、なめらかで、シミのない肌などといった美のイメージをユーザーに提示する。このようなイメージを基準として、ユーザーの身体を判断し、美に近づく施術プランを出す。

さらに、ヴェーゲンシュタインによると、美のあり方を伝播するテレビ番組や雑誌、SNS といったマスメディアが美容的まなざしを投射する場となり、人々は溢れるほどの美のイメージに囲まれている。このようなイメージは個体の身体観に影響を及ぼすうえで、個体の身体的実践に働きかけている [同上 2012 : 2]。ユーザーに自己呈示や交流の場を提供する「美麗日記」において、ユーザーたちは自分の身体を呈示することによって自己の評価ができるほか、他人の事例から自分自身を振り返って、更なる改善を目指すといった循環を形成している。「美麗日記」で、自分の体験を共有し、病院のサービスにレビューすることで、他のユーザーの参考となり、より多くのユーザーが実際に美的身体実践を行うよう後押ししている。

こうして、「新氧」では、ユーザーの身体が客体化され、医療技術やデジタル技術を用いたサービスによって判断、公開されることで、より美しい身体を絶えず生んでいる。このような身体に対する捉え方は、美に対する期待を含む「技術的まなざし」と考えることができ、ユーザーたちが美容医療を受けるように促している。

おわりに

かつて美は一種の感覚であったが、現在は高度に画一化・公式化している。これまでの観察調査から、「新氧」という美容医療プラットフォームは西洋医療を代表する医療技術、AI 技術と画像処理技術といったデジタル技術、自己呈示とオンラインコミュニケーションのできるメディア技術を駆使し、美のイメージと美に近づく方法をユーザーに提示することが分かってきた。ユーザーは美容医療プラットフォームを利用すると、身体を改造する必要に迫られる、相応する改造の方法も提供される。このような技術的まなざしのもとで、身体の秩序と美のイメージが生産されているのではないか。

ただし、ユーザーたちはただプラットフォームが作った画一的な美の規範へ順応するだけでなく、自分の美意識や考えをしっかりと持ち、システムが診断する美のイメージに疑念を抱きながら自分に有用な情報を取り入れている。その他、ユーザーたちは不良サービスに対して批判・抵抗し、多様な社交を通じて共通の理解や感情的な慰めを見つけ、自由な自己表現で新たな自己アイデンティティを構築することができる。

今後は美容医療の利用者たちの実際の施術のプロセスを見ていく必要がある。筆者は今後、美容病院での実地調査を行い、美容医療の利用者たちのライフスタイルについて聞き取り、人々の身体的実践の実態を描き出すことを試みる予定である。

引用文献

Davis, Kathy

1995 *Reshaping the Female Body: The Dilemma of Cosmetic Surgery*. New York: Routled.

Wegenstein, Bernadette

2012 *The Cosmetic Gaze: Body Modification and the Construction of Beauty*. Cambridge, Massachusetts: MIT Press.

Wolf, Naomi

1991 *The Beauty Myth: How Images of Beauty Are Used Against Women*. New York: Harper Collins Publisher Inc.

川添裕子

2011 「流動的で相互作用的な身体と自己—日本の美容整形の事例から」. 『国立歴史民俗博物館研究報告』 169, pp. 29–54.

2013 『美容整形と〈普通のわたし〉』. 東京：青弓社.

久保友香

2019 『「盛り」の誕生 女の子とテクノロジーが生んだ日本の美意識』. 東京：太田出版.

坂井信三

1988 『身体加工と儀礼』. 東京：東京大学出版会.

谷本奈穂

2008 『美容整形と化粧の社会学』. 東京：新曜社.

西倉実季

2005 『「美」を論じるフェミニズムの課題——二元論的思考を超えて』. 『F-GENS ジャーナル』 4, pp. 61–67.

文华

2019 看上去很美：整形美容手术在中国 (*Buying Beauty Cosmetic Surgery in China*). 华东师范大学出版社 (East China Normal University Press).

2010 整形美容手术的两难与焦虑的女性身体 (*The Dilemma of Cosmetic Surgery and the Anxious Female Body*). 妇女研究论丛 (Collection of Women's Studies). (1) pp. 55–61.

新氧

2022 「新氧 2022 年医美行业白皮书」新氧, <https://www.163.com/dy/article/HU1PS1BR0511B3FV.html>, 最終確認日：2023 年 12 月 15 日.

医美百科

2023a “注射去法令纹.” 新氧, <https://www.soyoung.com/itemk/solution/215>, 最終確認日：2023 年 12 月 15 日.

2023b “微针美塑.” 新氧, <https://www.soyoung.com/itemk/solution/579>, 最終確認日：2023 年 12 月 15 日.

中华人民共和国卫生部

2001 「医疗美容服务管理办法」中华人民共和国卫生部, https://baike.baidu.com/item/%E5%8C%BB%E7%96%97%E7%BE%8E%E5%AE%B9%E6%9C%8D%E5%8A%A1%E7%AE%A1%E7%90%86%E5%8A%9E%E6%B3%95?fromModule=lemma_search-box, 最終確認日：2023 年 12 月 23 日.